EXR 優先モード

EXR 優先モードには、次のモードがあります。用途に応じて、モードを選びます。

モード	説明
高解像度優先	被写体の細部までくっきりと撮影したいときに選びます。
高感度低ノイズ優先	高感度で撮影したときに発生するノイズを軽減したいときに選びます。
ダイナミックレンジ優先	白とびを抑え、明るい部分の階調まで撮影したいときに選びます。 D-Rng **ダイナミックレンジ**で R1600 **1600%**と R800 **800%**も設定できます（→ 89 ページ）。

オート

カメラまかせの簡単操作できれいな写真を撮影できます。ほとんどの状況に適しています。

Adv. アドバンストモード

高度なテクニックが必要な写真を簡単に撮影できます。

モードダイヤルを **Adv.** に合わせます。撮影メニューの **Adv. モード**から、使用するアドバンストモードを選んでください。

ぼかしコントロール

人物や花などの背景をぼかし、被写体を強調して撮影したいときに使用します。シャッターを押すと最大 3 コマ連写し、カメラが自動的にピントを合わせた被写体以外の背景をぼかします。一眼レフカメラで撮影したようなぼけ味のある写真を撮影できます。撮影前にコマンドダイヤルでぼかしの強度を 3 段階から設定できます。

メモ

セットアップメニューの **処理前画像記録**では、**ぼかしコントロール**で処理する前の画像も同時に記録するように設定できます（→ 108 ページ）。

注意

- 被写体と背景が近づきすぎていると、背景をうまくぼかせないことがあります。フォーカスロック時に「**! 背景をぼかせません**」とメッセージが出たときは、被写体から少し離れて、右方向（望遠）へズームリングを回し調整してください。
- 動いている被写体の場合、ぼかし処理に失敗することがあります。
- ぼかし処理が失敗すると「**! 画像を確認してください**」とメッセージがでます。再度、撮影してください。
- 撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。
- この機能での撮影では、通常より撮影範囲が狭くなります。

連写重ね撮り

暗いシーンや望遠撮影時の止まっている被写体の撮影に適しています。シャッターを押すと 4 コマ連写し、カメラが自動的に 1 枚の画像に合成します。手ブレを抑え、高感度でもノイズが少ない写真を撮影できます。

メモ

セットアップメニューの **処理前画像記録**では、**連写重ね撮り**で処理する前の画像も同時に記録するように設定できます（→ 108 ページ）。

注意

- 動いている被写体の場合、合成処理に失敗することがあります。
- 撮影中にカメラを大きく動かした場合や撮影シーンによっては、合成されずに記録されることがあります。
- 撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。
- この機能での撮影では、通常より撮影範囲が狭くなります。

SP1/SP2 シーンポジション

いろいろな撮影シーンに合わせて、カメラの設定を最適な状態にするシーンポジションが用意されています。

モードダイヤルを **SP1/SP2** に合わせます。撮影メニューの シーン選択から、使用するシーンモードを選んでください。